

147 馬インフルエンザ〔届〕

| 担当 | 検査チャート |
|---------|--|
| 家畜保健衛生所 | |
| 病性鑑定施設 | <p>(7) PCR</p> <p>(8) ウイルス培養試験 <発育鶏卵接種試験></p> <p>(9) 病理組織検査</p> |
| 判定・結果 | <p>(+)</p> <p>(-)</p> <p>(+)</p> <p>(-)</p> <p>(+)</p> <p>(-)</p> |
| 最終判定 | <p>疫学調査、臨床検査の結果を基に、各種検査結果により総合的に判定する。</p> |
| その他 | <p>1. PCRとウイルス培養試験については、少なくともいずれかの検査を実施する。</p> <p>2. 馬インフルエンザウイルスは、家畜伝染病予防法において届出伝染病等病原体に規定されており、その基準に従って使用、保管、運搬等を行うこと。</p> |

→類似疾病検査

- ① 148 馬鼻肺炎
- ② 馬ライノウイルス病
- ③ 馬アデノウイルス病
- ④ 海15 馬ウイルス性動脈炎
- ⑤ 154 腺疫

○ 病原体:A型インフルエンザウイルス;Influenza A virus [*Influenza A virus*, *Influenzavirus A*, *Orthomyxoviridae*]

(1) 疫学調査

- ① 伝播力が強く集団的に発生
- ② 周辺に本病の発生があった。
- ③ 最近、馬を移動・導入した。
- ④ 年間を通じて流行
- ⑤ 予防注射を受けていても発生することがある。

(2) 臨床検査

- ① 発咳(初期乾性のち湿性)
- ② 鼻汁漏出
- ③ 発熱
- ④ 一般症状の悪化
- ⑤ 羞明および流涙
- ⑥ 頸部リンパ節の腫脹

(3) 剖 検

- ① 鼻腔粘膜、咽喉頭および気管支のカタル〜び爛
- ② 希な急性死亡例では肺炎

(4) 血液検査

一過性の白血球の減少

(5) 簡易ウイルス検査(イムノクロマト)¹⁾

A型インフルエンザウイルス検出用キットを用いて抗原検出

(6) 抗体検査(HI反応)

ペア血清について実施

(7) P C R ²⁾

鼻腔ぬぐい液からRNAを抽出し、RT-PCRを実施

(8) ウイルス培養試験(発育鶏卵接種試験)

接種材料:鼻腔・喉頭ぬぐい液、肺の乳剤、気管の滲出物

方法:10~12日発育鶏卵の尿膜腔内接種(34~36℃で2~3日培養)

成績:尿膜腔液のHA検査によって判定(陰性の場合は3~5代盲継代)

同定:免疫血清によるHI試験(交差HI試験)、RT-PCR

(9) 病理組織検査

- ① 鼻腔、咽喉頭、気管の粘膜のび爛
- ② 希な死亡例では、肺胞における硝子膜形成を伴った壊死性気管支炎、気管支周囲炎

(参考文献)

1) Yamanaka, T., et al.: J. Vet. Med. Sci. 70, 189-192 (2008).

2) Newton, J.R., et al.: Vet. Rec. 158, 185-192 (2006).